

大同、オムロン快勝！ 大崎－湧永は引き分けに ～第33回日本ハンドボールリーグ開幕！～

第33回日本ハンドボールリーグが熱戦の火ぶたを切った。第1週は9月6、7日に神奈川などで男子5試合、女子3試合が行われ、V4を狙う男子・大同特殊鋼と女子・オムロンが快勝した一方、北海道での大崎電気－湧永製薬が引き分けとなるなど熱戦が相次いだ。

男女とも前回の上位4強が激突した第1週。シーズン開幕戦となった沖縄での女子・ソニーセミコンダクタ九州－北國銀行は、前半11-9とリードして折り返したソニーが、後半立ち上がりに北國・宮前の退場をきっかけに4連打で突き放しにかかるが、北國も10分過ぎからGK田代の好セーブからの速攻などで8点を連取、21分19-17と形勢を逆転した。終盤は両GKの好守の応酬で加点することができず、結局は堅い守りからの速攻で優位をキープした北國が勝利を握った。

神奈川のオムロン－広島メイプルレッズは、東濱、佐久川の連続速攻などで開始2分3-0としたオムロンに対し、広島も菅野のカットイン、植垣の7mスローなどで7分4-4と追いついた。その後、オムロンは洪、東濱のロング、カットインで波に乗り、安齋のカットインなどで反撃する広島に17-12と5点差をつけて前半終了。オムロンは後半も東濱、城内らで快調に加点、8分過ぎには広島の連続退場に乘じた吉田の7mスローなどでさらに点差を広げた。その後、広島は土屋、李らで必死に追撃したが、オムロン・GK藤間の好セーブに苦しめられて勝機を見出せなかった。

男子では大同が力強い攻守でトヨタ車体を圧倒した。李のカットイン、末松の7mスローで先行した大同に対し、車体も門山、香川、藤田で4連取して4-2と逆転成功。その後、一進一退の攻防が続き、13分6-6となったところで大同が白を投入すると、試合の流れはガラリと一変した。大同は残り13分からの白の5得点、そしてGK高木の4連続7mTシャットアウトでリズムに乗り、16-8とリードして前半終了。後半も大同の勢いは止まらず、武田、岸川らで加点。車体も高智、鶴谷らで粘るが大同の鉄壁のDFを崩せず、32-20と予想外の大差で大同に軍配が上がった。

初の札幌開催は2000人をゆうに超える観衆で大盛況。ファンお目当ての大崎－湧永戦はスピードあふれるプレー、気迫のこもったスリリングな攻防に大いにスタンドが沸いた。前半はポスト武藤を中心とした攻撃が光る湧永に対し、大崎もエース宮崎が速攻、ロングで6得点を奪う活躍などで互角の展開。湧永1点リードで迎えた後半も一進一退が続いた。試合が動いたのは9分18-18の場面で、湧永・武藤の失格に乗じてペースアップした大崎が15分23-19とリード。これで大崎が流れをつかんだかに見えたが、湧永も負けじと古家、東らでしぶとく追撃、残り1分に古家の一打で同点とし、そのままタイムアップとなった。（2ページに続く）

第2週の日程



開幕戦を勝利で飾った①大同特殊鋼・岸川
 ②北國銀行・小野澤

9月13日(土)	埼玉・和光市総合体育館(東武東上線和光市駅徒歩15分)	14:00～(男)	大崎電気 × 琉球コラソン
	広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	14:00～(女)	広島メイプルレッズ × 北國銀行
	佐賀・神埼中央公園体育館(ＪＲ長崎本線神埼駅徒歩5分)	14:00～(男)	トヨタ紡織九州 × 大同特殊鋼
9月14日(日)	愛知・ウィングアリーナ刈谷(名鉄名古屋本線富士松駅徒歩20分)	13:00～(男)	豊田合成 × H o n d a
	広島・湧永満之記念体育館(ＪＲ芸備線甲立駅車10分)	15:00～(男)	トヨタ車体 × トヨタ自動車
9月15日(月)	熊本・熊本県立総合体育館(ＪＲ鹿児島本線上熊本駅徒歩5分)	14:00～(男)	湧永製薬 × 北陸電力
	岐阜・岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム(ＪＲ岐阜駅・名鉄岐阜駅バス20分)	14:00～(女)	オムロン × H C 名古屋
		14:00～(女)	三重バイオレットアイリス × ソニーセミコンダクタ九州



地元でデビュー戦に臨んだ琉球コラソン・高田

好ゲーム続出！ 琉球は地元デビュー飾れず

そのほかの4試合も開幕戦にふさわしい好ゲームとなった。沖縄デビューで注目の琉球コラソンはトヨタ自動車に挑戦。内山の記念すべき得点で先制した琉球は、サイドを中心にスピードある攻撃と積極的なDFで自動車のミスを誘い、19分13-11と先行。しかし、自動車もGK稻本が好セーブを連発して立て直しを図り、一進一退となった後半もジリジリと追い上げた。疲れの見えた琉球は24分45秒、自動車の先行を許してから再逆転することはできず、ホーム開幕初勝利には至らなかった。

北海道の北陸電力-豊田合成は、山原の連続得点などで前半17-15で折り返した北電が、後半もパワープレーを活かして15分25-21とリード。その後も杉山、前田を中心とした攻撃で中村らで粘る合成の反撃を退けた。三重のHonda-トヨタ紡織九州は、後半開始20秒、Honda・野島のカットインで同点に追いつかれた紡織だったが、その後は果敢な3-2-1DFでHondaのミスを誘い、村上秀、村上直らの活躍で20分過ぎには7点リードを奪った。Hondaも終盤に入って柳本、竹田らで2点差まで急追して会場を沸かせたが一歩及ばなかった。

女子は、HC名古屋に前半1点リードを許した三重バイオレットアイリスが、後半に入って桂のボスト、伊藤のロング、伏見の7mスローで3点連取して逆転すると、その後も横川らで着実に加点、エース佐藤のシュートなどで食い下がる名古屋を突き放した。

次週も埼玉などで8試合が組まれ、順当に白星発進した大同は紡織、オムロンは名古屋の挑戦を受ける。開幕戦を引き分けた大崎は琉球、湧永も北電相手に初勝利が濃厚だ。初戦を落とした合成、女子・広島もホームの利を活かして勝機を見出したいところだ。

◆ 9月6日(土) 女子 神奈川・横浜文化体育館				◆ 9月6日(土) 男子 神奈川・横浜文化体育館				◆ 9月6日(土) 女子 沖縄・浦添市民体育館			
オムロン 31	(17-12 14-10)	22	広島メイプル レッズ 0勝0分1敗	大同特殊鋼 32	(16-8 16-12)	20	トヨタ車体 0勝0分0敗	北國銀行 23	(9-11 14-10)	21	ソニーセミコンダ クタ九州 0勝0分1敗
4/4	<0/1> K 勝 田 5/ 5 城 内 1/ 1 安心院 1/ 1 卷 大 前 0/ 0 西 本 植 垣 0/ 1 吉田祥 李 1/ 4 藤 井 菲 野 7/10 佐久川 坪 井 0/ 0 坂 元 伊 藤 1/1 0/ 2 久 野 坂 口 6/10 洪廷昊 駄 々 K <0/3> K 藤 間 安 齋 0/ 0 高 田 石 山 5/12 東 濱 新 城	<0/5> 2/ 3 0/ 4 0/ 0 1/12 2/2 6/12 2/2 4/ 9 1/ 1 0/ 1 0/ 0 3/ 3 岸 川 4/ 8 李才佑 2/ 2 千々波 1/ 1 山 城 <1/4> K 東 1/1 4/ 7 白元皓 2/ 6 松 永 1/ 1 渡久川	<0/1> 1/ 2 0/1 1/ 1 2/ 7 0/1 0/ 2 0/1 5/ 8 0/ 1 4/ 8 李才佑 2/ 2 千々波 1/ 1 山 城 2/ 5 1/ 3 2/4 0/ 1 5/11	<0/2> K 下 地 5/5 3/12 上 町 3/ 5 宮 前 工 0/ 0 川 井 亀 山 0/ 3 小野澤 高 栖 5/ 6 横 島 飛 1/ 5 野路良 樋 口 2/10 武 井 佐 師 <1/3> K 田 代 飯 田 1/ 7 仲宗根 南 K 1/ 1 野路里 東 0/ 1 1/1 <0/1> K 大 澤 和 田 0/ 0 八十島 川 口 0/ 0 2/ 2 若 松 金 城 3/ 8 0/1	中 島 K <0/1> 郭 惠 静 3/14 1/1 6/ 7 2/ 5 0/ 1 <0/4> 2/ 6 3/3 0/ 0 0/ 0 1/ 7 仲宗根 南 K 1/ 1 野路里 東 0/ 1 1/1 0/ 0 2/ 2 若 松 金 城 3/ 8 0/1						
5/5	26/46 11(FPP)7 審判 (福田・富田)	18/46 4/4 観客 830人	4/4 28/51 11(FPP)7 審判 (黒木秀・黒木龍)	17/41 3/8 観客 1250人	5/5 18/51 9(FPP)5 審判 (家永・福島)	16/42 5/6 観客 640人					



大崎電気

若手中心のチーム編成で勝負！

大崎電気ハンドボールはチーム創部以来、日本リーグ1回、全日本総合9回、全日本実業団に不滅の10連覇を含む14回、国民体育大会にも16回の優勝を飾るなど、実業団チームの“草分け”として常に日本ハンドボール界をリードし、創世記から10年余りは「全日本イコール大崎」といわれるほどの黄金時代を築きました。創部から47年が過ぎ、日本リーグチームの中で最も古い歴史を持ちながらも、不变のチャレンジ精神で、さらに新しい伝統づくりに邁進していく決意に変わりありません。

新キャプテン猪妻、副キャプテン宮崎と今年度は若手中心のチーム構成で勝負します。

また、日本代表へ3名（永島、宮崎、猪妻）、日本代表

候補に5名（東（ひがし）、内田、酒井、岩永、望月）、中堅、若手の台頭でバランスのよい布陣が形成され、「走るチーム」をベースにしたスピードプレーを展開させてライバルたちに立ち向かっていきます。

日本はもちろん、世界の舞台で活躍できるチーム作りが目標です。ファンの皆様に大きな感動を持ち帰っていただけるよう、

躍動感あふれるハンドボールをお見せしますので、絶大なる応援を宜しくお願いします。



◆ 9月6日(土) 男子 沖縄・浦添市民体育館		◆ 9月7日(日) 男子 北海道・北海道立総合体育センター「きたえーる」		◆ 9月7日(日) 男子 北海道・北海道立総合体育センター「きたえーる」	
トヨタ 自動車 35 (16-19) 1勝0分0敗	琉球 コラソン 32 0勝0分1敗	北陸電力 29 (17-15) 1勝0分0敗	豊田合成 27 0勝0分1敗	大崎電気 27 (12-13) 0勝1分0敗	湧永製薬 27 0勝1分0敗
0/0 坂口 3/4 岩田 0/0 高野 0/1 4/7 栗崎 1/1 小林 5/10 多和田 7/7 倉田 K 佐藤 0/0 澤田 <0/2> K 稲本 8/11 光増 0/0 福田 1/1 6/11 山口	久高 0/2 山村 7/15 1/1 棚原 0/1 岡田 4/4 積 0/1 名嘉 1/2 池田 0/1 内田 K 水野矢 0/0 内山 4/6 田場 5/15 1/1 高田 5/7 K 石田 水野紀 4/9	K 西田 2/5 高橋 5/12 神田 4/6 落合 2/5 桜井 6/9 前田 8/10 杉山 0/0 大谷 0/0 表 0/1 2/5 山原 <0/4> K 丸山 0/0 石塚 <0/1> K 有江	大立 K 原 0/0 大橋 6/8 2/2 桶谷 2/5 加藤 0/0 大植 0/0 渡久山 0/0 3/3 今村 5/11 中村 5/8 芳仲 0/3 0/0 亀田 <0/4> K 丸山 0/0 石塚 佐藤 0/0	K 浦和 1/6 前田 2/3 中川 2/3 永島 2/7 太田 1/1 酒井 0/3 岩永 <0/1> K 石原 0/1 秋山 1/1 3/3 内田 1/1 2/3 猪妻 11/19 宮崎 <2/6> K 東佑三	志水 K 坂本 0/0 濱本 0/0 山中 1/2 福田 0/0 吉田 2/2 名嘉 1/6 東 3/6 4/5 坪根 K <0/1> 新 4/10 武藤 5/6 松村 K <0/1> 古家 3/8 東長濱 3/11 1/2
1/2 34/51 8(FPP)9 審判(奥山・海江田)	30/63 2/2 観客 1206人	0/1 29/52 9(FPP)11 審判(多田・中館)	22/47 5/5 観客 2180人	2/2 25/52 14(FPP)14 審判(浜田・小笠原)	22/51 5/7 観客 2350人

◆ 9月7日(日) 女子 三重・鈴鹿市立体育館		◆ 9月7日(日) 男子 三重・鈴鹿市立体育館		◆ 9月7日(日) 男子 三重・鈴鹿市立体育館	
三重バイオレット トライス 26 (13-14) 1勝0分0敗	HC名古屋 19 0勝0分1敗	トヨタ紡織 九州 28 (12-11) 1勝0分0敗	Honda 25 0勝0分1敗	トヨタ紡織 九州 28 (12-11) 1勝0分0敗	Honda 25 0勝0分1敗
K 浅井 4/4 横川 4/5 桂 2/5 宮下 0/0 竹上 0/0 谷口 1/1 北村 1/5 伏見 2/5 橋本 0/0 野中 3/5 星野 <1/1> K 森	近藤 K <1/4> 池田 1/1 佐藤 6/10 高橋瑛 1/8 鈴木 0/1 菅谷 2/7 0/1 高橋知 2/3 高橋玲 1/5 家城 K 秋山 6/8 徳永 K <1/2> <td><1/2> K 松野 9/15 中畠 0/0 西端 2/2 村上直 4/10 村上秀 4/8 吳相民 0/0 鶴田 5/10 海道 0/2 阪吉 K 谷川 2/3 鈴木 0/1 藤山 0/0 船木 1/7 泉</td> <td>中谷 0/1 鶴見 5/11 柳本 7/9 0/1 河瀬 2/4 竹田 4/7 1/1 横地 3/6 伊藤 0/0 青山 0/0 村 K 瀬元 0/0 野嶋 3/6 高木 0/0 兼浦 K <1/1><td><1/2> K 松野 9/15 中畠 0/0 西端 2/2 村上直 4/10 村上秀 4/8 吳相民 0/0 鶴田 5/10 海道 0/2 阪吉 K 谷川 2/3 鈴木 0/1 藤山 0/0 船木 1/7 泉</td><td>中谷 0/1 鶴見 5/11 柳本 7/9 0/1 河瀬 2/4 竹田 4/7 1/1 横地 3/6 伊藤 0/0 青山 0/0 村 K 瀬元 0/0 野嶋 3/6 高木 0/0 兼浦 K <1/1></td></td>	<1/2> K 松野 9/15 中畠 0/0 西端 2/2 村上直 4/10 村上秀 4/8 吳相民 0/0 鶴田 5/10 海道 0/2 阪吉 K 谷川 2/3 鈴木 0/1 藤山 0/0 船木 1/7 泉	中谷 0/1 鶴見 5/11 柳本 7/9 0/1 河瀬 2/4 竹田 4/7 1/1 横地 3/6 伊藤 0/0 青山 0/0 村 K 瀬元 0/0 野嶋 3/6 高木 0/0 兼浦 K <1/1> <td><1/2> K 松野 9/15 中畠 0/0 西端 2/2 村上直 4/10 村上秀 4/8 吳相民 0/0 鶴田 5/10 海道 0/2 阪吉 K 谷川 2/3 鈴木 0/1 藤山 0/0 船木 1/7 泉</td> <td>中谷 0/1 鶴見 5/11 柳本 7/9 0/1 河瀬 2/4 竹田 4/7 1/1 横地 3/6 伊藤 0/0 青山 0/0 村 K 瀬元 0/0 野嶋 3/6 高木 0/0 兼浦 K <1/1></td>	<1/2> K 松野 9/15 中畠 0/0 西端 2/2 村上直 4/10 村上秀 4/8 吳相民 0/0 鶴田 5/10 海道 0/2 阪吉 K 谷川 2/3 鈴木 0/1 藤山 0/0 船木 1/7 泉	中谷 0/1 鶴見 5/11 柳本 7/9 0/1 河瀬 2/4 竹田 4/7 1/1 横地 3/6 伊藤 0/0 青山 0/0 村 K 瀬元 0/0 野嶋 3/6 高木 0/0 兼浦 K <1/1>
4/6 22/42 2(FPP)3 審判(佐々木・高原)	19/43 0/1 観客 550人	0/1 28/58 8(FPP)7 審判(池渕・檜崎)	24/44 1/2 観客 550人	0/1 28/58 8(FPP)7 審判(池渕・檜崎)	24/44 1/2 観客 550人



広島メイプルレッズ

地域に愛されながら成長を

1994年にイズミ女子ハンドボール部として発足以来、選手、監督として文字通り陣頭指揮を執り、輝かしい成績を残してくれた林五卿さんがソウル市庁チームの監督として韓国へ帰りました。代わって、男子日本リーグの中村荷役でフローターとして活躍した呉龍基氏を監督として迎え、再出発となった広島メイプルレッズです。

ここ数年優勝から遠ざかり、悔しい思いを抱えていますが、呉龍基監督が目指すハンドボールを、選手はどんどん吸収してきています。一つ一つのプレーを大切にし、どんなボールをも無駄にしない執着心を持って、試合に挑んでもらいたいと思っています。チームの目標はなんとしても王座奪還！ 選手、スタッフ一丸となってこのシーズンに挑みます。

新しく主将になった大前選手の速攻、植垣選手のロングシュート、菅野選手のカットイン、今期加わった李選手のプレーも見所の一つです。

多くの企業、サポーターに支えられているNPO法人ですが、地域に愛されるチームとして、これからも成長を続けて行きたいと思います。



男女個人賞レース 第1週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	11点	(1試合)	1 李 キヨンミン (メイプルレッズ)	8点	(1試合)
2 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	9点	(1試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	8点	(1試合)
3 大橋 隆之 (豊田合成)	8点	(1試合)	3 佐久川 ひとみ (オムロン)	7点	(1試合)
3 杉山 卓也 (北陸電力)	8点	(1試合)	4 工藤 麻衣 (ソニー)	6点	(1試合)
3 光増 由矢 (トヨタ自動車)	8点	(1試合)	4 秋山 美寿々 (H C 名古屋)	6点	(1試合)
3 村山 裕次 (琉球コラソン)	8点	(1試合)	4 佐藤 由紀恵 (H C 名古屋)	6点	(1試合)
7 倉田 正洋 (トヨタ自動車)	7点	(1試合)	4 洪 廷昊 (オムロン)	6点	(1試合)
7 柳本 義文 (Honda)	7点	(1試合)	8 城内 真紀 (オムロン)	5点	(1試合)
7 末松 誠 (大同特殊鋼)	7点	(1試合)	8 横嶋 かおる (北國銀行)	5点	(1試合)
7 東慶一 (湧永製薬)	7点	(1試合)	8 樋口 真央 (ソニー)	5点	(1試合)
7 山口 恭裕 (トヨタ自動車)	7点	(1試合)	8 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	5点	(1試合)
12 前田 亮介 (北陸電力)	6点	(1試合)	8 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	5点	(1試合)
12 田場 裕也 (琉球コラソン)	6点	(1試合)	8 東濱 裕子 (オムロン)	5点	(1試合)
14 武藤 剛 (湧永製薬)	5点	(1試合)	14 横川 恵子 (バイオレットアイリス)	4点	(1試合)
14 高田 匠 (琉球コラソン)	5点	(1試合)	14 桂 裕美子 (バイオレットアイリス)	4点	(1試合)
14 竹田 寛明 (Honda)	5点	(1試合)	14 吉田 祥子 (オムロン)	4点	(1試合)
14 藤田 聖史 (トヨタ車体)	5点	(1試合)	14 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	4点	(1試合)
14 中村 晃己 (豊田合成)	5点	(1試合)	14 郭 恵靜 (ソニー)	4点	(1試合)
14 白元 塔 (大同特殊鋼)	5点	(1試合)			
14 多和田 裕介 (トヨタ自動車)	5点	(1試合)			
14 海道 衛秀 (トヨタ紡織九州)	5点	(1試合)			
14 鶴見 拓 (Honda)	5点	(1試合)			
14 今村 彰伸 (豊田合成)	5点	(1試合)			
14 門山 哲也 (トヨタ車体)	5点	(1試合)			
14 神田 友和 (北陸電力)	5点	(1試合)			

フィールド得点賞

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	11点	(1試合)	1 佐久川 ひとみ (オムロン)	7点	(1試合)
2 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	9点	(1試合)	2 工藤 麻衣 (ソニー)	6点	(1試合)
3 杉山 卓也 (北陸電力)	8点	(1試合)	2 秋山 美寿々 (H C 名古屋)	6点	(1試合)
3 光増 由矢 (トヨタ自動車)	8点	(1試合)	2 佐藤 由紀恵 (H C 名古屋)	6点	(1試合)
5 倉田 正洋 (トヨタ自動車)	7点	(1試合)	2 洪 廷昊 (オムロン)	6点	(1試合)
5 柳本 義文 (Honda)	7点	(1試合)	2 李 キヨンミン (メイプルレッズ)	6点	(1試合)
5 村山 裕次 (琉球コラソン)	7点	(1試合)	7 城内 真紀 (オムロン)	5点	(1試合)
8 大橋 隆之 (豊田合成)	6点	(1試合)	7 横嶋 かおる (北國銀行)	5点	(1試合)
8 前田 亮介 (北陸電力)	6点	(1試合)	7 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	5点	(1試合)
8 山口 恭裕 (トヨタ自動車)	6点	(1試合)	7 東濱 裕子 (オムロン)	5点	(1試合)

シート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 倉田 正洋 (トヨタ自動車)	7点/ 7射 1.000	1 城内 真紀 (オムロン)	5点/ 5射 1.000
2 杉山 卓也 (北陸電力)	8点/ 10射 0.800	2 工藤 麻衣 (ソニー)	6点/ 7射 0.857
3 柳本 義文 (Honda)	7点/ 9射 0.778	3 横嶋 かおる (北國銀行)	5点/ 6射 0.833
4 大橋 隆之 (豊田合成)	6点/ 8射 0.750	4 秋山 美寿々 (H C 名古屋)	6点/ 8射 0.750
5 光増 由矢 (トヨタ自動車)	8点/ 11射 0.727	5 佐久川 ひとみ (オムロン)	7点/ 10射 0.700

7mスロー得点賞

1 東慶一 (湧永製薬)	4点	(1試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	5点	(1試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成)	3点	(1試合)	2 吉田 祥子 (オムロン)	4点	(1試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	2点	(1試合)	2 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	4点	(1試合)
3 大橋 隆之 (豊田合成)	2点	(1試合)	4 樋口 真央 (ソニー)	3点	(1試合)
3 香川 将之 (トヨタ車体)	2点	(1試合)	5 植垣 曜恵 (メイプルレッズ)	2点	(1試合)
			5 李 キヨンミン (メイプルレッズ)	2点	(1試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 高木 尚 (大同特殊鋼)	4本/ 4射	1.000	1 森田 由美 (バイオレットアイリス)	1本/ 1射	1.000
1 兼浦 裕也 (Honda)	1本/ 1射	1.000	2 徳永 悅代 (H C 名古屋)	1本/ 2射	0.500
1 藤堂 聖二 (豊田合成)	1本/ 1射	1.000	3 田代 ひろみ (北國銀行)	1本/ 3射	0.333
4 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	1本/ 2射	0.500	4 近藤 澄江 (H C 名古屋)	1本/ 4射	0.250
4 石田 孝一 (琉球コラソン)	1本/ 2射	0.500			

第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第1週終了 9月7日

順位	男子	大同特殊鋼	トヨタ自動車	トヨタ紡織九州	北陸電力	湧永製薬	大崎電気	豊田合成	琉球コラソン	Honda	トヨタ車体	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼										32 ○ 20	1	1	0	0	2	32	20	12
2	トヨタ自動車								35 ○ 32			1	1	0	0	2	35	32	3
3	トヨタ紡織九州									28 ○ 25		1	1	0	0	2	28	25	3
4	北陸電力							29 ○ 27				1	1	0	0	2	29	27	2
5	湧永製薬						27 △ 27					1	0	1	0	1	27	27	0
5	大崎電気					27 △ 27						1	0	1	0	1	27	27	0
7	豊田合成				27 ● 29							1	0	0	1	0	27	29	-2
8	琉球コラソン		32 ● 35									1	0	0	1	0	32	35	-3
9	Honda			25 ● 28								1	0	0	1	0	25	28	-3
10	トヨタ車体	20 ● 32										1	0	0	1	0	20	32	-12

順位	女子	オムロン	三重バイオレットアイス	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	HC名古屋	広島メイフルレッズ	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン						31 ○ 22	1	1	0	0	2	31	22	9
2	三重バイオレットアイス					26 ○ 19		1	1	0	0	2	26	19	7
3	北國銀行				23 ○ 21			1	1	0	0	2	23	21	2
4	ソニーセミコンダクタ九州			21 ● 23				1	0	0	1	0	21	23	-2
5	HC名古屋		19 ● 26					1	0	0	1	0	19	26	-7
6	広島メイフルレッズ	22 ● 31						1	0	0	1	0	22	31	-9

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。